

漢文 杜甫『春望』定期テスト対策問題 | 形式・押韻・対句・現代語訳の頻出設問と解答 解答・解説

問1 五言律詩（ごごんりっし）。

一句が五字、全体が八句なので「五言律詩」。八句で一字が七字なら七言律詩、四句なら絶句となる。

問2 杜甫（とほ）。

問3 イ（詩聖）。

杜甫は「詩聖」と呼ばれる。なお「詩仙」は李白（りはく）を指す。混同しやすいので注意。

問4

(1) 首聯（しゅれん） (2) 頷聯（がんれん） (3) 頸聯（けいれん） (4) 尾聯（びれん）。

律詩は八句を二句ずつ四つに分け、上から首聯・頷聯・頸聯・尾聯と呼ぶ。

問5 深・心・金・簪。

いずれも「-in（しん・しん・きん・しん）」の音で韻を踏んでいる。

問6 第二句・第四句・第六句・第八句。

律詩では原則として偶数句の末字（および詩によっては第一句末）で韻を踏む。本作は偶数句で押韻している。

問7 頷聯（第三・四句）と頸聯（第五・六句）。

律詩では中の二聯（頷聯・頸聯）を対句にするのが原則。

問8（解答例）「感（じる）」と「恨（む）」、「時」と「別」、「花」と「鳥」、「濺涙（涙を濺ぐ）」と「驚心（心を驚かす）」がそれぞれ対応しており、文の組み立てもそろっている所以对句である。

問9 戦乱を表す語…烽火 / 家族を表す語…家書。

「烽火（戦争・公の出来事）」と「家書（家族からの手紙・私的なこと）」を対比させている。

問10 城春にして草木深し。

「国破れて山河在り（国は破れたが山河は残っている）」と「城春にして草木深し（町に春は来て草木は生い茂る）」が対応し、首聯も対句になっている。

問11（解答例）国都〔長安〕は戦乱で破壊されてしまったが、山や河は昔のままに残っている。

問12

(1) 安史の乱（あんしのらん）。唐の玄宗の時代に起きた安祿山・史思明らの反乱で、都長安が占領された。

(2) 松尾芭蕉（まつおばしょう）。『おくのほそ道』平泉の場面で「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と引用している。

問13（解答例）町には春がやってきて、草や木が生い茂っている。

（「深し」は草木が深々と生い茂るさま。荒れはてた都に、それでも変わらず巡る春を対比させている。）

問14

- (1) 戦乱（戦争）が続く、世の乱れた時世。
- (2) (解答例) この戦乱の世を思うと、(美しいはずの) 花を見ても涙がこぼれ、家族との別れをうらめしく思うと、(楽しいはずの) 鳥の声にも心を痛める (はっとさせられる)。

問15

- (1) 敵の来襲などを知らせる「のろし（火）」。ここでは戦乱・戦争そのものを表す。
- (2) (解答例) 戦乱を告げるのろしは、三か月もの間ずっと続いて (やまない)。
- ※「三月」は「数か月にわたって長く」の意で訳すこともできる。

問16

- (1) (ふるさとの) 家族から届く手紙。
- (2) 価値が相当する、匹敵する。
- (3) (解答例) 家族からの手紙は万金 (非常に大きな価値) に値するほどありがたい。
- 心情…戦乱で家族と離れ、便りもなかなか届かない中で、一通の手紙がこの上なく貴重に感じられる、家族を深く思う気持ちが表れている。

問17 (解答例) 訳…白くなった髪は、(心配のあまり) 掻けば掻くほどさらに短く (薄く) になってしまう。

様子…戦乱や家族を思う心労で、老け込み、すっかり衰えてしまった作者の姿が読み取れる。

問18

- (1) ア (まったく・すっかり)。
- (2) 「簪 (しん)」は、髪をまとめて冠を留めるためのかんざし (ピン)。役人・官吏の身だしなみの象徴であった。
- (3) (解答例) (髪が薄くなって) まったく、もう簪を挿して留めることもできそうにない。

問19

- (1) (簪を挿すことに) 「耐えられない＝もはや簪を挿しておくことができない」という意味。
- (2) 「(今にも) ～しようとする・～しそうだ」という意味 (ここでは「～になりそうだ」という状態を表す)。

問20 季節…春。

(解答例) 荒れはてた戦乱の都にも、自然の春は変わらず巡ってくる。その美しい春の景色と、戦乱を嘆き家族を思う作者の悲しみとが対比され、かえって悲しみが深く際立つ。

問21 イ。

戦乱の世を嘆き、離ればなれの家族を思う気持ちが主題。あわせて、栄えた都も滅びる、人の世のはかなさ (無常) も読み取れる。

問22 無常 (無常観)。

栄えた都も戦乱で滅び、人の世は移ろいやすい——という、世のはかなさをはかなむ感覚。

問23 安史の乱 (あんしのらん)。

問24 (あ) 唐 (い) 安史 (う) 五。

「唐詩の代表的な詩人である杜甫が、安史の乱で都長安が占領されたときの心情をうたった五言律詩である。」